

漁海況月報

平成20年 9月 1日

No. 9

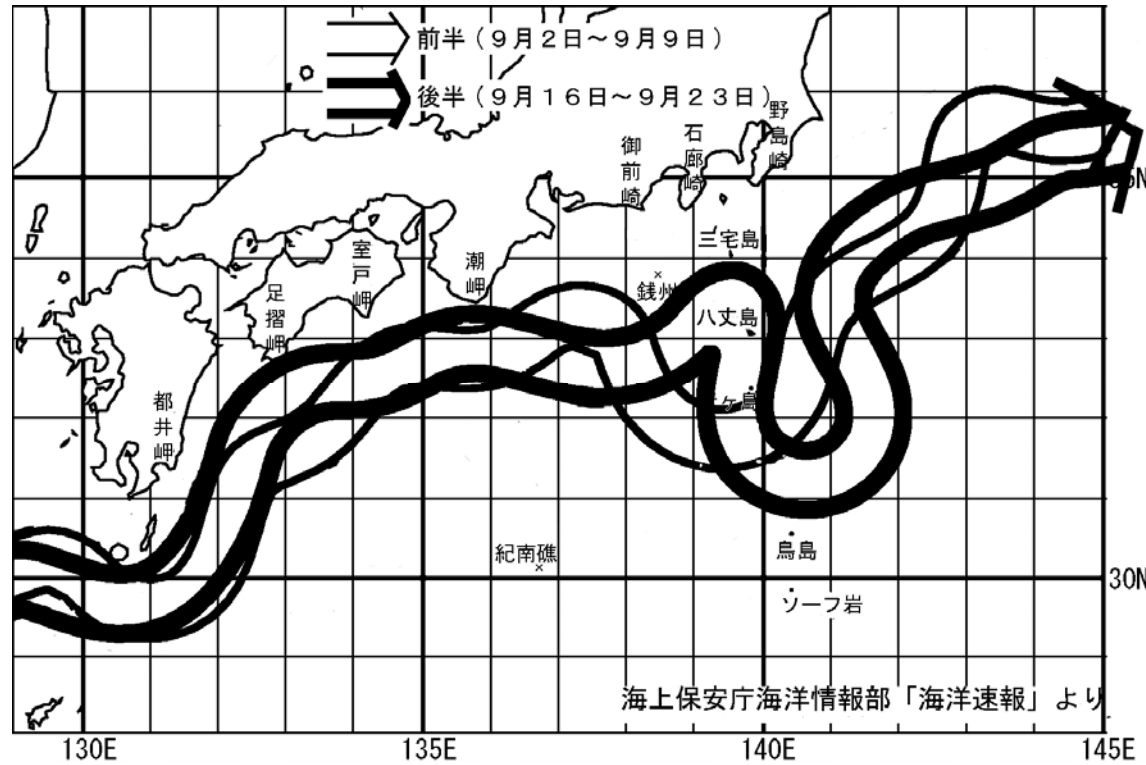
～9月30日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	25.6	25.9	25.4	26.4	26.5	26.8	26.9
	0.9	1.4	0.8	0.5	0.8	1.4	1.4
中旬	25.1	25.9	25.2	25.9	25.7	26.4	25.9
	0.9	1.8	1.1	0.8	0.8	2.0	1.2
下旬	24.1	24.6	24.3	25.3	25.1	24.8	24.4
	1.0	1.1	0.8	1.0	1.5	1.4	0.8
月	25.0	25.4	25.0	26.0	25.8	26.0	25.7
	0.9	1.5	0.9	0.9	1.0	1.6	1.1

[黒潮流路]

月前半の黒潮は、九州東岸から足摺岬にかけて離岸し、室戸岬から潮岬にかけて接岸した後、東北東に流去した。その後、遠州灘沖を南東に流れて青ヶ島の南側を通り、房総半島に離岸傾向で北東に流去した。

月後半の黒潮は、九州東岸から潮岬にかけて接岸し、33° N付近を東進した。その後、八丈島周辺から31° N付近まで南下し、141° E付近をS字状に北東に流去した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾では23～26°C台、駿河湾東部では23～27°C台、西部では21～28°C台で経過した。

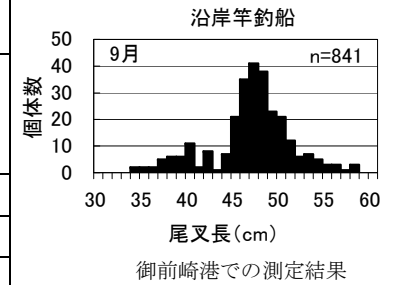
月を通じて相模湾、駿河湾内に26～27°C台の暖水が波及した影響で、各地とも上旬はやや高め、中下旬はやや高めから高めで経過した。

[竿釣近海カツオ]

9月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣船によるカツオの水揚量はなかった。沿岸竿釣船はハロースで操業し、60トンを水揚げした。尾叉長は47cmにモードがあった。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚 隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
20年 9月上旬	0	0	—	—
中旬	0	0	—	—
下旬	0	0	—	—
20年 9月計	0	0	—	—
19年 9月計	20	5	4.0	323
18年 9月計	52	15	3.5	251



御前崎港での測定結果

[定置網]

平成20年9月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は210トンド、操業がなかった伊豆山、赤石、富戸を除く1漁場当たり水揚量42.0トンは前年39.9トン(7漁場)の105%、平年値(昭和57～平成19年)47.2トンの89%であった。魚種別水揚量は、①マアジ71.0トン(A:前年同月比222%、B:平年同月比244%)②サバ類32.8トン(A:51%、B:24%)③マルソウダ27.1トン(A:95%、B:48%)④ヤマトカマス20.7トン(A:34%、B:87%)⑤イサキ9.6トン(A:38%、B:105%)の順であった。

マアジは谷津、北川、赤沢を中心に入網し、「小あじ」銘柄の尾叉長のモード15～16cmの当歳魚が漁獲の8割以上を占め、23cmモードの1歳魚はわずかに見られたのみであった。サバ類は川奈、北川、古網を中心に入網し、ゴマサバが中心で、尾叉長のモードは31cmであった。マルソウダは、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは28cmであり、マルソウダ銘柄の中にもモードを30cmに持つヒラソウダが多く混じっていた。ヤマトカマスは北川、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは27cmにみられた。イサキは赤沢、川奈を中心に入網したが、測定できなかった。

漁場別水揚量は、古網63トン(ソウダカツオ類、サバ類、ヤマトカマス中心)、北川51トン(マア

ジ、ヤマトカマス、サバ類中心)、赤沢 34 トン (マアジ、サバ類、ソウダガツオ類中心) の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港には棒受網によってゴマサバ 816 トン (前年同月比 142%) が水揚げされ、1 隻あたり水揚量は 34.0 トン/隻 (前年同月比 106%) と好調であった。ゴマサバの平均単価は 51 円/kg で、前年 (前年同月 58 円/kg) をやや下回った。

漁場は三宅、三本に形成された。ゴマサバの魚体は、27~29cm モードの 1 歳魚 (2007 年級群) と思われる群が主体となったが、30cm を超える群の割合が前月より増加した。

小川港 サバ類 (たもすくい・棒受網漁業) 水揚量

期 間	水揚量 (ト)	水揚日数	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)	漁 場
20年9月上旬	407	6	12	33.9	53	三宅、三本
中旬	236	3	6	39.3	51	三本、三宅
下旬	172	3	6	28.7	44	三宅、三本
20年9月 計	816	12	24	34.0	51	—
19年9月	576	10	18	32.0	58	三本
18年9月	252	7	14	18.0	38	三宅、新島瀬戸、大室出し

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

1 日 1 か統当りの漁獲量は、駿河湾では 391kg、遠州灘では 225kg であった。主要 6 港平均では 290kg であり、これは前年同期 (333kg) の 87%、平年同期 (過去 5 か年平均 : 357kg) の 81% と前年、平年を下回った。また、総水揚量は 538.7 トンで前年同期 (718.9 トン) の 75%、平年同期 (857.9 トン) の 63% と、前年、平年を下回った。平均単価は 863 円/kg で、平年同期 (790 円/kg) を上回った。

シラス水揚量 (主要 6 港)

漁 港	水揚量 (ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	23.8	13	133	179	780
舞 阪	96.7	13	480	201	848
福 田	83.3	13	345	241	775
御前崎	51.1	15	173	295	842
吉 田	102.8	16	396	260	733
静 岡	181.0	15	330	548	1,002
平成 20 年 9 月 計	538.7		1,857	290	863
平成 19 年 9 月 計	718.9		2,160	333	744
平成 18 年 9 月 計	882.7		2,564	344	776

[まき網]

小川港ではマイワシの水揚げは 1.1 トンで平年同期 (97.1 トン) の 1% であった。沼津港では、マイワシが 10.4 トンの水揚げで平年同期 (93.0 トン) の 11% であった。カタクチイワシは 0.3 トンの水揚げで平年同期 (3.7 トン) の 7% であった。静浦港ではマイワシは 1.2 トンの水揚げで平年同期 (4.9 トン) の 25% であった。カタクチイワシの水揚げはなかった (平年同期 48.7 トン)。伊東港ではマイワシは 11.5 トンの水揚げで平年同期 (41.5 トン) の 28% であった。

注) 平年同期 : 過去 5 か年 (2003~2007 年) 平均

[調査船の動向]

富 士 丸	9月1日	～	9月24日	第4次航海ビンナガ・カツオ調査	(24日間)
駿 河 丸	9月1日	～	9月3日	地先定点観測	(3日間)
	9月4日	～	9月5日	サクラエビ IKMT 調査	(2日間)
	9月8日	～	9月9日	サバ・タチウオ調査	(2日間)
	9月11日	～	9月12日	サクラエビ産卵調査・短期海況変動調査	(3日間)
	9月22日	～	9月22日	ドック回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東東海海況速報を見ることができます。

